

2 生 福 第 5 1 4 号

令 和 2 年 4 月 2 4 日

各高齢者福祉施設等管理者 様

福島県高齢福祉課長

( 公 印 省 略 )

高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症対策について（通知）

このことについて、感染拡大防止対策の徹底等についてお願いしているところですが、下記のとおり感染症対策Q&Aをお送りしますので、万全の対策を講じられますようお願いいたします。

記

- 1 福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症対策Q&A  
～感染患者さんを早期にみつけるための留意点～
- 2 福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症対策Q&A  
～利用者に疑い例が出た場合の対応～

(事務担当 主幹兼副課長 浅野 電話024-521-7162)

## 福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症対策 Q&A

### ～感染患者さんを早期にみつけるための留意点～

どのような状態なら、新型コロナウイルス感染症を疑えばよいか？

#### 【見つけるのに重要な情報】

- ・熱がある

#### 【重症かもしれない重要な情報】

- ・ご飯を受け付けない
- ・ハアハアしている → 熱がなくてもハアハアしていると危ない状態かもしれない

#### 【そのほかの情報】

- ・咳をしている
- ・だるそう
- ・のどを痛がる
- ・吐く
- ・下痢をしている
- ・なんとなくおかしい

福祉・介護施設に入所されている方々は、高齢だったり訴えが困難な方が多いため、これらの症状がしっかりと確認できない可能性があります。

「なんとなくおかしい、いつもと違う」という家族やスタッフの感覚が唯一の手がかりになることもあります。

風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎、一般的な肺炎などどうやって区別するか？

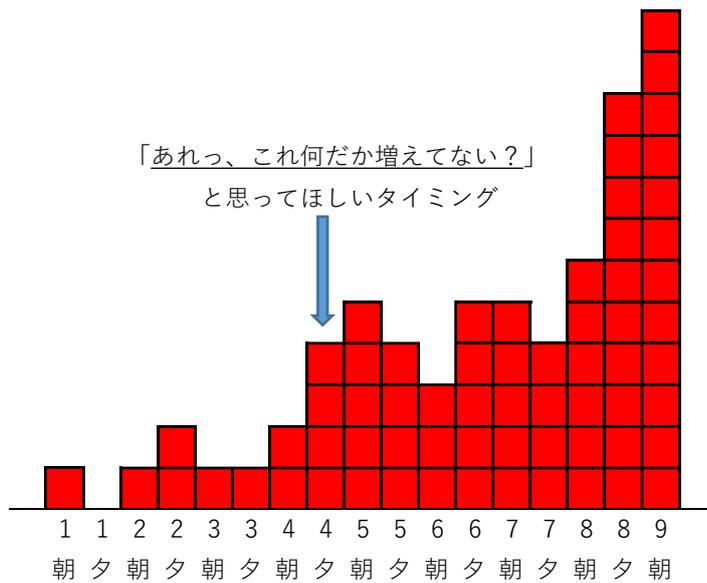
新型コロナウイルス感染症は、

- 1 風邪と比べて、**長引く**
- 2 インフルエンザと比べて、**長引く**
- 3 感染性胃腸炎と比べて、**咳やのどの痛みも出てくる**
- 4 誤嚥性肺炎と比べて、**周りの人も調子を落としている**

症状だけで完全に区別することはできませんが、新型コロナウイルス感染症は、**長引くことと周りへの伝播力が強いこと**という特徴があり、これが疑う手がかりになります。

周りへの伝播力が強いことをどうやって見つけるか？

- 1 毎日、朝と夕に**全入所者**と**業務中の全職員**の体温を測る
- 2 毎日、朝と夕に 37.5 度以上の人数を数える
- 3 毎日、朝と夕に 37.5 度以上の人数をグラフに加えていく
- 4 「あれっ、これ何だか増えてない？」と思ったら、即、保健所に相談  
グラフに記録していくと早く気づくことができる



早く気づいた時、どんな手を打てばよいのか？

新型コロナウイルス感染症の**診断よりもまず優先すべきこと**

- 1 症状がある方と症状がない方のエリアを離す
- 2 個室がない場合は、同じ症状がある方を同じエリアにまとめる
- 3 可能であれば、日ごとに症状がある方と症状がない方の担当を別にする（毎日固定の必要はない）
- 4 「あれっ、これ何だか増えてない？」に気づいた時、何をすべきかすぐに動けない場合には、即、保健所に相談

（出典：「福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症の対策～感染患者さんを早期にみつけるための留意点～」（長崎大学病院 感染制御教育センター 副センター長 田代将人氏）より引用）

# 福祉・介護施設における新型コロナウイルス感染症対策 Q&A

## ～利用者に疑い例が出た場合の対応～

利用者に発熱などの症状が出現した場合、どうすればよいか？

- 利用者の観察をしてください。体温、呼吸、せきやのどの痛みなどの呼吸器症状の有無を観察し、**可能な限り個室に移動させ、速やかに施設の医師（配置医師、かかりつけ医）に相談してください。」**
- **個室がない場合は、ついたてなどで他の利用者と分ける**ようにしてください。その際、同室者は原則濃厚接触者となりますので、他の部屋に移動する場合は、全員同室にするようにしてください。
- 軽度の発熱（目安として 37.5 度未満）、軽いせきやのどの痛みの場合は、安静を保ち、呼吸が安楽にできるように加湿や室温に留意し、飲み水や食事を促し、注意深く経過を観察してください。また、部屋の換気をこまめに行ってください。
- 「**帰国者・接触者相談センター**」への相談目安は下記のとおりです。**施設の医師と相談の上、該当する場合は同センターに相談してください。**

- **かぜの症状や 37.5 度以上の発熱が 4 日以上続く場合**（解熱剤を飲み続けなければならないときを含む）
- **強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合**  
＜高齢者や基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患など）がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方＞
- **かぜの症状や 37.5 度以上の発熱が 2 日以上続く場合**
- **強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合**

帰国者・接触者相談センター連絡先（令和2年4月20日より各保健所窓口が統合されました）

相談窓口	対応時間	電話番号
福島県帰国者・接触者相談センター	毎日 (24時間/土日祝日含む)	0120-567-747

- 発熱した利用者が新型コロナウイルス感染症を疑われる場合、当該利用者に接触するときには、サージカルマスク、ガウン、手袋、を着用してください。（要着脱訓練）
- また、それらの情報を利用者に関わるスタッフや委託業者などすべての方に伝達するようにしてください。

### 発熱症状（疑い例）のある利用者の部屋の清掃は？

- 病室清掃は、できるだけ清掃委託業者ではなくスタッフが実施してください。
- 清掃時は、**サージカルマスク、ガウン、手袋を着用**してください。
- **床清掃は通常通り**でかまいませんが、**唾液や喀痰などの分泌物で汚染がある場合は**、洗剤で拭き取った後、アルコールや0.1%次亜塩素酸ナトリウムで消毒してください。
- それ以外、**高頻度に接触する箇所**もアルコールまたは、0.05%次亜塩素酸ナトリウムで消毒してください。
- **ゴミ箱は**、鼻汁や痰を含んだティッシュで**汚染しているリスクが高い**ため、**手袋を着用してビニール袋の封をし、回収**してください。使用した**手袋は速やかに交換**してください。
- 清掃業者に依頼する場合は、担当者へ注意すべき点（サージカルマスク、ガウン、手袋の着脱方法、清掃道具の処理方法（専用にするなど））の伝達をしてください。

### 発熱症状（疑い例）のある利用者に使用する物品は Disposable にした方がよいか？

- その必要はありません。ただし、普段、**利用者間で共有する器財（体温計、血圧計、聴診器など）**はできるだけ専用にしてください。それが困難な場合は**アルコールで清拭消毒**をしてください。

### 発熱症状（疑い例）の利用者が **PCR 陽性** となった場合、使用していた部屋全体の消毒は必要？

- 部屋全体の消毒は必要ありませんが、**高頻度に接触する箇所はアルコールまたは 0,05% 次亜塩素酸ナトリウム液で丁寧に拭き取り清掃**を行ってください。
- 清掃を清掃委託業者に依頼する場合は、担当者へ注意すべき点（サージカルマスク、ガウン、手袋の着脱方法、清掃用具の処理方法など）の伝達指導をし、必ず職員側で確認するようにしてください。

発熱症状（疑い例）の利用者が **PCR 陽性** となった場合、使用したリネン類の処理に気をつけることは？

- シーツを処理するときは **アイシールド、サージカルマスク、ガウン、手袋を着用して** 作業にあたってください。
- 使用後のシーツは水溶性ランドリーバックまたはビニール袋に入れ、口を締めて搬送してください。
- 施設内で処理する場合は **80℃以上10分**の熱水洗浄をしてください。

発熱症状（疑い例）の利用者が **PCR 陰性** だった場合、特に注意することは？

- **特にありません。** 通常どおりの対応をしてください。

（出典：「高齢者介護施設における感染対策 第1版」（一般社団法人 日本環境感染学会）より引用）